

2014年度 第9期アレルギー大学受講科目・日程・会場（千葉）

				千葉県(千葉市)				単位	
	講座番号	講座名	タイトル	講師	月日	定員	会場	コース必須	
基礎・初級	講座	9066	医学-基礎	食物アレルギーの基礎	森田慶紀	6/14(土)AM	50	第12	○
		9067	食品学-基礎	食品学の基礎	若林あや子	6/14(土)PM	50	第12	○
		9068	医学-I	食物アレルギーの臨床	加藤いづみ	6/28(土)AM	50	第12	○
		9069	食品学-I	アレルゲンの基本	足立はるよ	6/28(土)PM	50	第12	○
		9070	栄養と献立-I	栄養と献立	林典子	7/21(月・祝)PM	50	第12	○
		9071	発達とアレルギー-II	赤ちゃんの口の機能の発達とアレルギー	山本昌直	7/12(土)AM	50	第12	○
		9072	発達とアレルギー-I	食育とアレルギー	増野弥生	7/12(土)PM	50	第12	○
	実習	9073	離乳食実習	離乳食のすすめ方	千葉市栄養士	8/2(土)	20	第13	◎ 1日選択
		9074				AM-PM			
		9075	離乳食実習	離乳食のすすめ方	千葉市栄養士	8/9(土)	20	第13	◎ 1日選択
		9076				AM-PM			
		9077	実習-I	卵・乳に対応した給食 I	小川由佳	8/23(土)	30	第14	◎ 1日選択
9078	AM-PM								
中級	講座	9079	医学-II	食品別の診断と食事指導	山出晶子	9/13(土)AM	50	第12	○
		9080	栄養と献立-II	園・学校でのアレルギー対応給食	原正美	9/13(土)PM	50	第12	○
		9081	保育学校管理-I	ひやりはつと事例から学ぶ (園・学校でのアレルギー対策)	下条直樹	9/23(火・祝)AM	50	第12	○
	実習	9083	実習-II	卵・乳・小麦その他に対応した給食	原正美	10/4(土)	30	第14	◎ 1日選択
		9084				AM-PM			
上級	講座	9085	医学-V	最新医療・食事指導	鈴木修一	10/18(土)	50	第12	◎ 1日選択
		9086	保育学校管理-II	グループディスカッション		AM-PM			
		9087	食品表示	食品表示とアレルギー食品の検査技術	渡邊裕子	10/25(土)PM	50	第12	○
	実習	9088	実習-III	多種アレルゲンに対応した給食	原正美	11/15(土)	30	第14	◎ 1日選択
		9089				AM-PM			
特別講座	9082	アレルギーと発達心理	働きかけの工夫	松寄くみ子	9/23(火・祝)PM	50	第12		

午前の講座 (9:45-12:15) 受付: 9:30 開始
 午後の講座 (13:30-16:00) 受付: 13:15 開始
 離乳食実習 / 調理実習 午前午後(10:00-16:30)・・・一日通しの調理実習 受付: 9:45 開始

第12会場 千葉市民会館

〒260-0017 千葉市中央区要町1-1
 TEL: 043-2240-2431
 ●JR千葉駅より徒歩7分

第13会場 千葉県立保健医療大学

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-10-1
 TEL 043-296-2000
 ●JR幕張駅(総武線緩行)・JR海浜幕張駅(京葉線)

第14会場 蘇我勤労市民プラザ

〒260-0834 千葉県千葉市中央区今井1-14-43
 TEL 043-266-5504

*コースをお申し込みの方は、必須講座を○(1単位)・◎(2単位) 全て受講してください。

【千葉会場 問い合わせ先】

NPO法人千葉アレルギーネットワーク
 〒285-0845 佐倉市西志津8-11-2
<http://www.chiba-allergynet.jp/>
 Mail: info@chiba-allergynet.jp
 070-5019-7492



【お申込み方法】

千葉アレルギーネットワーク

検索



各会場、駐車場が狭いためご来館の際は電車等の交通機関を利用ください。

<注>日程及び会場は、天候不順、会場、講師などの都合により変更する場合があります。必ず事前に下記ホームページにてご確認ください。

「千葉アレルギーネットワーク」
<http://www.chiba-allergynet.jp/>

主催



〒453-0042 名古屋市千種区大秋町二丁目45-6

千葉県会場での講師の先生方のご紹介(順不同)

下条 直樹

千葉大学大学院
医学研究院小児病態学
准教授



食物アレルギーは小さな子どもに発症することが多く、お母さんが最も適切な情報と助言が得られないことも少なくないようです。この問題解決のためには医師だけでは不十分で、栄養士さん、保母さん、保健師さん、先生方など、お子さんに関わる職種のかたに広く支援をいただく必要があります。千葉県にはまだ食物アレルギーについて詳しい栄養士さんが少ないともいわれています。皆さんの参加をお待ちしています。

森田 慶紀

千葉市海浜病院



近年、食物アレルギーは増えてきており、小児にかかわる現場では正しい食物アレルギーの知識と対応がますます重要になると考えられます。一方で、小児の食物アレルギーは乳児期、幼児期、学童期とわかると、年代毎で特徴が異なります。今回のお話ではこれら基本的な食物アレルギーの知識の整理を行い、皆さんの役に立てればと思います。

原 正美

昭和女子大学 生活科学部
管理栄養学科 准教授



食物アレルギーのお食事作りで日々ご苦労されている給食関係者や保護者の方のお役に立つ、具体的な情報提供を心がけております。離乳食、幼児食、学校給食、病院給食など様々な場面、施設での栄養バランス、献立作成やレシピ提案、食物アレルゲンを含む大量調理用加工食品、調理方法等の講義や実習を通して、食物アレルギー児の食生活を一緒に考え直してみましよう。まずは実践あるのみです。

鈴木 修一

国立病院機構
下志津病院
小児科・アレルギー科



最近、食物アレルギーの診療状況が徐々に変わってきています。社会での認識が高まってきているものの、現場では戸惑いもあるようです。患者さんや保護者の方々との関わりの中で、アレルギーの発症予防や早期寛解、QOLの向上を目指しております。短い時間ではありますが、これからの食生活に役立つよう、食物アレルギーに関する理解を楽しく深めていただけることを願っております。

山出 晶子

千葉県こども病院
アレルギー・膠原病科



食物アレルギーの原因食物はさまざまですが、食物によって、アレルギーを発症しやすい年齢、治りやすさ、検査結果と実際の症状との関係などが異なり、それぞれ特徴があります。また、加熱すると症状が出にくくなる食物、原料が同じでも加工品の種類によって症状の出やすさが大きく変わる食物などもあります。それぞれの食物について知ることで、より良い治療、より良い生活を目指していければ良いですね。食物アレルギーに関わる皆さんのために、今回のお話しが少しでもお役に立てればと思います。

林 典子

国立病院機構相模原病院
臨床研究センター
アレルギー性疾患研究部



食物アレルギーの患者さんの食のQOL(Quality of life)の低下や精神的な負担を減らすためには、必要最小限の原因食物を除去することが大切です。しかし食物除去の幅を必要以上に狭めず、また解除に対する不安などが原因で、食物除去を拡大してしまい困っている患者さんも少なくありません。患者さんが摂取できる食物の幅を必要以上に狭めず、また解除するときにもスムーズに解除していき、食生活の中で抱えていらっしゃる不安を軽減し、食生活を楽しんでいただけるようにという思いで患者さんに接しております。

若林 あや子

日本医科大学
微生物学
免疫学教室 助教



食物アレルギーの誘導や発症には、からだの様々な細胞が関与していると考えられています。アレルギー大学では、我々が食べている食べ物について、またその食べ物の成分がどのようにからだの中に入るか、そして食べ物がからだの中に入った後に起こること、などについて、現在考えられている知見に基づき、わかりやすく説明します。食物アレルギーとは何か、どのようなことがからだの中で起こっているのか理解を深め、その対策や対応について、受講者の皆様と一緒に考えていきたいと思います。

足立 はるよ

東京大学大学院
農学生命科学研究科
特任研究員



現在食物アレルギーの発症機構解明に向け、基礎研究に勤しんでいます。ウン年前栄養学を学ぶ学生として『自分は食物アレルギーの子どもの母親だったら、子どもに何を食べさせるのか』という疑問を出発点に、食物アレルギーの発症機構を明らかにし、子ども達に豊かな食生活を保障しよう、というのが私の基礎研究開始の動機です。現在通信教育で、小児栄養の非常勤講師もしながら、自分の子育てでも小児にとって食生活の重要性を意識する日々です。

増野 弥生

戸板女子短期大学
食物栄養科
准教授



食物アレルギーは乳幼児に多く見られる代表的なアレルギーの一つです。近年、食物アレルギーを持つ園児が増え、給食担当のみならず、保育関係者からも、現場での不安や戸惑いを訴えることも多いようです。食物アレルギー児への給食では、保護者への支援も求められており、保育園栄養士のみならず、保育者にもアレルギー対応の専門知識が必要とされ、保護者・保育園職員・医療関係者との連携、保護者へのより具体的な保育支援が望まれています。受講者の皆様に、少しでもお役に立つことが出来るようにと願っております。

協力団体(千葉県・順不同)

- ◎サークル“どんぐり”
- ◎船橋二和病院ぽがらの会
- ◎千葉食物アレルギー親と子の会

後援

文部科学省、厚生労働省、日本アレルギー学会、千葉県、千葉県教育委員会、千葉市、千葉市教育委員会、市川市、市川市教育委員会、船橋市、船橋市教育委員会、

共催

NPO法人千葉アレルギーネットワーク、新潟県立大学、NPO法人アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと